瀬戸内市地域おこし協力隊募集要項
（地域エネルギーコンサルタント）

1. 募集人員

地域おこし協力隊（地域エネルギーコンサルタント）　1名

2. 活動内容

（1） 地域エネルギーコンサルタント※本活動は瀬戸内市市民電力（株）と協働していただくことを想定しています。

瀬戸内市は、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、国の目標より早く2040年までに脱炭素社会の実現をするべく、市を挙げて脱炭素の取組を進めています。

その中でも、今回地域おこし協力隊に活動いただく「玉津（たまつ）」・「裳掛（もかけ）」地区は、瀬戸内市が『脱炭素先行地域』に位置づけた、まさに最前線のエリアです。

しかし、いくら政策があっても、主役である地域住民の間には「具体的にどうすればいいのかわからない」という戸惑いの声があるのも事実。再生可能エネルギーの話になると少し難しく感じてしまい、なかなか具体的な動きにつながっていないのが現状です。

そこで、行政主導で行う施策だけではなく、地域の内側から脱炭素社会の理解を広め、ともに機運を高めていくための「コンサルタント」が必要とされています。今回の「地域エネルギーコンサルタント」は住民とともに、暮らしに寄り添いながら、地域独自の脱炭素モデルを形成するための活動を行います。

主な活動内容（概要）

- 現状調査
  地域に入って脱炭素を進めるための資源や課題を探ります。
- PR、広報
  地域の内外へ市の施策の広報や補助金制度の紹介等を行うためのイベント等を企画・実行します。
- 事業企画、実行
  地域主体の脱炭素の取組を、地域住民とともに計画・立案し、実行します。

3. 募集対象（募集条件）

（1）年　齢

令和8年4月1日現在で20歳以上の方

（2）性　別

問いません

（3）住　所

3大都市圏をはじめとする都市地域に居住し、委嘱後、瀬戸内市内に生活拠点を移し、住民票を異動できる方

※ 「3大都市圏をはじめとする都市地域」とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県並びに札幌市、仙台市、新潟市、静岡市、浜松市、岡山市、北九州市、福岡市及び熊本市のうち過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法及び小笠原諸

島振興開発特別措置法に指定された地域外の地域をいいます。詳しくはお問い合わせください。

(4) 資 格 等

- 普通自動車運転免許を取得し、日常的に自動車を運転している方
- 民間企業等で企画又は営業等の実務経験が1年以上ある方
- 地方公務員法第16条に規定する欠格事由に該当しない方

(5) そ の 他

- 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方
- 地域おこしに意欲と情熱がある方
- コミュニケーション能力が高く、地域住民や事業者等と積極的に協働できる方
- 環境やエネルギー問題の知識がある方
- 自ら企画を立て、行動できる自主性のある方
- パソコンの一般的な操作ができ、SNS 等のデジタルツールの運用スキルをお持ちの方
- 委嘱期間終了後も瀬戸内市において定住・就業・起業に意欲のある方

4. 勤務地

瀬戸内市役所生活環境課及び瀬戸内市内

5. 勤務日・勤務時間

(1) 勤務日数

原則として月曜日から金曜日のうち週４日（イベント当日・準備日は土日祝勤務あり）

※土曜日・日曜日・祝日に活動した場合は代休対応

(2) 勤務時間

１日 7.5 時間、週 30 時間

(3) 休　　暇

年次有給休暇、特別休暇（有給・無給）等があります。

6. 雇用形態及び雇用期間

(1) 雇用形態

会計年度任用職員(地方公務員法第 22 条の２第１項第１号)

(2) 雇用期間

任用の日（令和9年1月1日予定、相談可）から**最長3年間**

※　採用後１か月は条件付採用となります。勤務成績が良好な場合、一会計年度ごとに更新があり、最長３年まで再度任用を行う場合があります。

(3) 任期終了後

活動期間中に得たスキルやネットワークを活用し、市内の企業・団体に就職することにより、瀬戸内市に定住していただくことを想定しています。

7. 処遇・福利厚生

（1）報　　酬

月額 198,800 円

※　瀬戸内市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例に基づき、通勤費用弁償を支給します。

※　賞与有（条件有）

（2）住　　居

隊員により確保していただきます。借上に係る費用は活動費として支給します。

（3）福利厚生

健康保険、厚生年金、雇用保険加入

（4）そ の 他

・　活動に必要な経費を予算の範囲内で支給しますが、任用前の引越しに係る経費、住居に係る光熱水費等、活動期間中の生活に必要な備品などは隊員の負担となります。

※　活動費については 140 万円程度/年が目安となりますが、任用の日によって月割で算定します。

・　パートタイム勤務（週30時間勤務）となりますので、副業・兼業が可能です。

※　営利企業への従事等には届出が必要となります。

※　副業・兼業に関しての留意点は、厚生労働省「副業・兼業の促進に関するガイドライン」をご参照ください。　https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000996750.pdf

・　今後、待遇、報酬及び福利厚生、活動費等の内容に変更が生じる場合があります。予め了承の上、応募してください。

8. 応募手続

（1）受付期間

令和8年10月23日（金）～令和8年11月20日（金）

（2）応募方法

<u>オンラインでの受付のみ</u>になります（窓口、郵送での応募受付は行いません）。

下記URLから応募フォームにアクセスし、手続きを行ってください。

【注意事項】

・インターネット環境が必要となります。

・メンテナンス等によるシステムの停止、使用されるパソコン等や通信回線上の障害等によるトラブルについては、一切責任を負いません。余裕をもって期限内に申し込んでください。

・ご利用のメールサービスによっては、応募完了メールを自動的に迷惑メールと判断し、受け取れない場合があります。<u>あらかじめメールサービスの設定からドメイン「city.setouchi.lg.jp」を受け取ることができるように設定してください</u>。

・重複して応募された場合は、早い時間に応募されたものを有効とします。

・<u>3（3）の住所要件を確認するため、後日住民票の提出をお願いする場合があります</u>。

（3）応募手続きの流れ

① 下記の応募フォームURLを読み込み、公募情報を確認
（下記二次元コードからも公募フォームへ移動できます。）

地域エネルギーコンサルタント
https://35e8ea52.form.kintoneapp.com/public/setouchi-energy

② 応募内容の入力
- 応募は**基本情報（住所・氏名・連絡先等）と写真の登録のみ（2分程度）**で完了します。
- 入力途中での一時保存も可能ですが、必ず一時保存ができることを保証するものではありませんので、ご注意ください。
- 添付する写真は、6カ月以内に撮影したものを使用してください。

③ 応募フォームの送信（応募締切 ： 令和8年11月20日（金） 午後5時まで）

9. 選考の流れ

（1）審査方法

・第１次選考

応募フォーム登録後、応募者に随時メールで、書類審査（提出期限：令和8年 12 月 4 日（金）午後5時まで）のご案内をします。書類審査の上、結果を応募者全員にメールで通知します。

・第２次選考

第1次審査合格者について面接審査及びプレゼンテーション審査を行います。日時等は第1次審査結果を通知する際にお知らせします。なお、第2次選考審査に要する交通費等は個人負担とします。

（2）最終選考結果のお知らせ

最終選考結果は文書で通知します。

10. その他

- 募集に関する質問等は、原則メールにてお問合せください。なお、メールの件名は「地域おこし協力隊募集」としてください。
- 応募を検討するにあたり、市担当者等と事前に面談することができます（対面もしくは Zoom を使用したオンライン）。随時都合の良い日程で実施させていただきますので、希望される方は、上記と同様に電子メールでご連絡ください。

問い合わせ先
瀬戸内市役所成長戦略部地域振興推進課
〒701-4292 岡山県瀬戸内市邑久町尾張300番地1
TEL.0869-22-1031
FAX.0869-22-3304
Eメール.chiikishinko@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市地域おこし協力隊を募集します

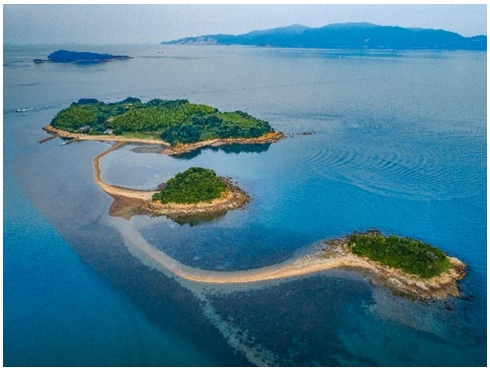
応募の前に必ずおさえておきたい 瀬戸内市ってどんなところ？

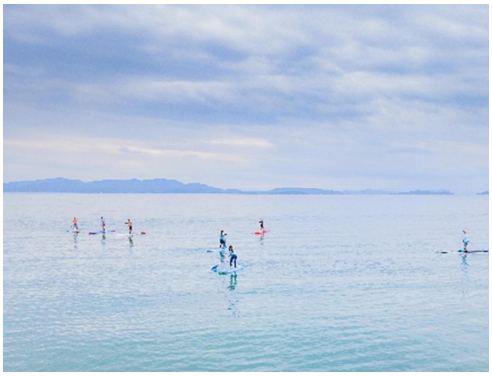
岡山駅からJRで21分、車で30分の高い利便性

穏やかで晴れの日が多く、災害が少ない「晴れの国」と言われる岡山県の南東部に位置する瀬戸内市は、県庁所在地である岡山市に隣接し、岡山駅へもJRで21分、車で30分という高い利便性を持ったまちです。主要駅の邑久駅周辺には、大型スーパーや家電量販店、ドラッグストアなどが立ち並んでいること、また不動産価格もお手頃なことから、邑久駅や長船駅周辺は子育て世代や若い世代の移住者が多い人口増加地域となっています。

日本のエーゲ海と呼ばれる牛窓では、釣りやヨット、SUPも

瀬戸内市は、牛窓町・邑久町・長船町の3つの町が平成16年11月に合併して誕生しました。買い物スポットがある邑久駅周辺から車で15分ほど移動すれば、牛窓に到着。牛窓は、日本のエーゲ海と呼ばれ、本当に美しい海辺の暮らしも楽しめます。県内唯一のヨットハーバーもあることから、ヨットやSUP、釣りなども楽しむ方もいらっしゃいます。地域おこし協力隊の活動に取り組みながらも、生活の利便性と自然の豊かさを両立できる稀有なまちです。





人口／35,805人（R8.3.1 現在）
年間平均気温／16.5℃（最高36.7℃ 最低-4.2℃、R6気象庁データより）
年間降水量／1354.0㎜（東京1926.0㎜、大阪1590.0㎜、R6気象庁データより）

瀬戸内市のあふれる魅力

備前おさふね刀剣の里（備前長船刀剣博物館）

国宝級の日本刀のうち約半数の生産地が、瀬戸内市にある長船地域を中心とした地域です。そのため、刀剣専門の博物館や鍛刀場、工房などがあり、全国的にも珍しく展示だけではなく現役の刀匠などの作業を間近に見ることができます。

毎月第２日曜日には玉鋼を打ち延ばす古式鍛錬が行われ、鎚の音と飛び散る火花は必見です。

備前福岡

中世山陽道随一の商都と言われ、国宝「一遍上人絵伝」に描かれた「福岡の市」の場面は有名です。

往時の「福岡の市」を再現する定期市として、地域の農産物や加工品、ご当地グルメなどの店舗が集まる「福岡の市」が毎月第４日曜日、「備前福岡の大市」が年２回開催され、毎回多くの人でにぎわいます。

牛窓オリーブ園

瀬戸内海の多島美を臨む丘の斜面に約 2000 本のオリーブが広がり、花が咲くころは緑の園が淡黄色に染まり幻想的で、丘からの景色も素晴らしいです。

毎月第２日曜日は、雑貨、工芸、地元野菜、オリーブ製品、ワークショップなど小さなお店が集まるオリーブガーデンマーケットが開催され、毎回多くの人でにぎわいます。

日本一のだがし売場

瀬戸内市には、売り場面積約 1,000 ㎡に駄菓子や縁日品が所狭しに並べられている「日本一のだがし売場」があります。子どもも大人も楽しめる「だがしのテーマパーク」です。

そのほか、備前焼のルーツといわれる須恵器が焼かれていた国指定史跡「寒風古窯跡群」の隣に建てられた「寒風陶芸会館」では、土ひねりや絵付けなどの陶芸体験が楽しめるなど、子どもから大人まで楽しめるスポットが数多くあります。

瀬戸内市の暮らしのインフラ

子育てと教育

子育て世代の移住者が多いのも瀬戸内市の特徴です。「自然の中で子育て」、「安全安心な食材を与えたい」という環境の良さはもちろん、18歳までの医療費無料、学校給食費の無償化、育児用品購入チケットの充実、急用時の一時保育や病児・病後児保育、放課後児童クラブなど子育て支援も充実していて、家族連れでの応募でも安心です。

瀬戸内市民図書館「もみわ広場」

市民図書館は「もみわカフェ」「読書テラス」があり、子どもを連れて行きやすく、市民の集う場所になっています。「喜之助ギャラリー」「せとうち発見の道」など瀬戸内市独自の文化に触れるコーナーもあり、瀬戸内市の教育・歴史・文化の拠点となっているので、活動のヒントを得たり、暮らしの豊かさを感じる場所になるはずです。

瀬戸内市民病院

平成 28 年に新たに開院した市民病院は、従来の救急医療、外来診療、入院機能に加えて在宅復帰を支援するリハビリ機能が充実。MRI・CT・内視鏡などによる人間ドックや健康診断で皆さんの健康を支える、まちの心強い医療機関です。そのほか 4 つの病院と 28 の診療所、16 の歯科医院があります。また、岡山市と隣接しているため、岡山市内へも通院が可能です。

働き方・暮らし方のイメージ

岡山市と隣接した瀬戸内市は、利便性が高いまちです。例えば、こんな働き方・暮らし方が可能です。

ロールモデル① 岡山市で自営業を行っている方

瀬戸内市で地域を盛り上げる仕事をしながら、現在の仕事を兼業で続けることも可能です。瀬戸内市での新しい暮らしと岡山市の仕事を両立させ、あなたらしい働き方を実現しませんか。

ロールモデル② 岡山市で働いている方

瀬戸内市で地域おこし協力隊として新しい仕事を始めながら、岡山市の友人との交流も続けることができます。仕事で地域貢献をしつつ、週末には岡山市を訪れて友人と過ごすといったライフスタイルも実現可能です。

「人が集い、手取りが増えるまちづくり」に取り組みませんか？

～地域おこし協力隊募集～

こんにちは。瀬戸内市長の黒石健太郎です。実は、私も市外からの移住者です。交通面や生活面の利便性の高さと、コスパの良さ、そして牛窓の自然や世界に通用する歴史文化に惹かれ、隣の岡山市から移住しました。

私は、新卒でリクルートに就職し、営業や新規事業開発に従事。その後、事業開発の知見を活かし、起業の学校を立ち上げ10数年経営してきました。インターネット広告代理店も運営して
きました。そのようなキャリアを積んだ上で、市長に就任したこともあり、民間のビジネスや新規事業、マーケティングを活用して、瀬戸内市の魅力をさらに磨き、発信することができると、強く感じています。

だからこそ、市長に就任直後から力を入れて取り組んでいることの一つが、
今回の地域おこし協力隊の募集になります。地域おこし協力隊は、3年間の給与と活動費を支給した上で、3年後までに事業化を実現し、独立起業を目指していただく取組です。

瀬戸内市は、今年度から地域おこし協力隊の募集にさらに力を入れて取り組む方針を定めています。瀬戸内市地域おこし協力隊の創業メンバーとして、ぜひ、力を貸してください。ともに、人が集い、手取りが増えるまちづくりを実現していきましょう。